



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

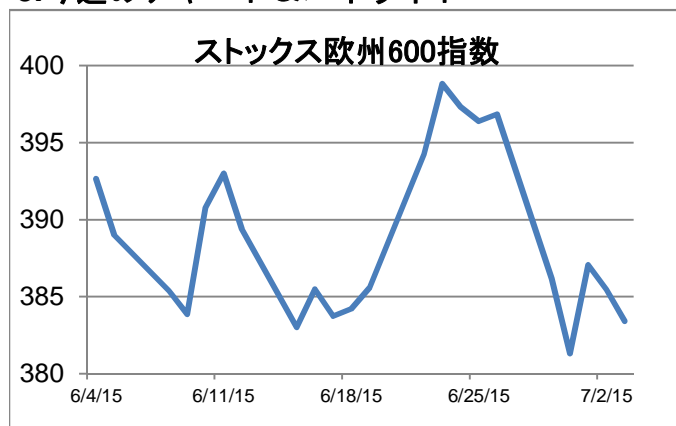
			6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,1170	3,1030	3,1490	3,0960	3,1340	+0,0380
	BRL/JPY	Spot	39,30	39,48	39,11	39,74	39,18	-0,56
	EUR/USD	Spot	1,1240	1,1140	1,1052	1,1082	1,1114	+0,0032
	USD/JPY	Spot	122,53	122,52	123,17	123,09	122,79	-0,30
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,28	14,24	14,26	14,15	14,13	-0,0177
	Future	1Year(p.a.)	14,34	14,28	14,31	14,13	14,11	-0,0268
	On-shore	6MTH(p.a.)	1,368	1,327	1,418	1,443	1,497	+0,054
	USD	1Year(p.a.)	1,868	1,809	1,891	1,896	1,988	+0,092
株式	Bovespa指数		53.014,21	53.080,88	52.757,54	53.106,19	52.519,41	-586,78
CDS	CDS Brazil 5y		263,77	259,90	259,43	254,56	253,85	-0,71
商品	CRB指数		223,584	227,170	224,062	224,552	224,552	u,c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- ・ 今週の為替相場は3.1370で寄り付いた。
- ・ 週末にギリシャが銀行休業と資本規制を発表したほか、同国がユーロ圏離脱に追い込まれるとの観測が強まったことから欧州ではリスク資産が大きく下落、株式市場は8か月振りの大幅安となった。レアルは寄り付きから売られるも、直後から資金流入と思しきレアル買いが見られると、レアルは他のエマージング通貨の動きに反して3.10台後半まで反発した。
- ・ 翌30日には月末のPTAX決定に向けてのレアル買い需要が大きく見られたほか、大口の資金流入の噂も聞かれたことからレアルは続伸、週間高値となる3.0880まで買い進まれた。
- ・ 週末には6月の米ADP民間雇用者数が半年で最大の伸びとなったほか、米ISM製造業景況指数が5か月振りの高水準となったことを受けて、ドルは対主要通貨で大きく上昇、レアルは3.1500まで反落した。
- ・ しかし翌2日には米雇用統計を控えてレアルは週間安値となる3.1580を付けた後、予想を下回る6月の米雇用統計が発表されると、ドルは対主要通貨で大きく下落、レアルも3.09台半ばまで急反発した。
- ・ 週末にかけては伯仲銀がドル売リスワップのロール金額を更に減額すると発表したことを受けて、レアルは3.14台前半まで急落し、結局3.1340で越週した。

3. 今週のチャート&ハイライト



ギリシャ国民投票控えて欧州株式市場は下落、今年に入って週間ベースで年初来最悪

今月5日に控えているギリシャ国民投票の結果が大きく注目されており、行われた世論調査の結果では国民は五分五分に分かれており、予測できない状態となっている。更に欧州の政策当局は投票後も収まらないと見て、混乱が長期化する恐れがあり、来週以降もリスクオフモードとなりそう。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.05－3.20

今週はギリシャ問題を巡ってリスクオフモードが強まったが、ギリシャ問題を受けレアルの値動きは限定的となったが、レアルは米経済指標の結果を受けて大きく反応した。米雇用統計が弱かったことを受けて、レアルは再び3.1000を上回る水準まで回復したが、アンオフィシャルながら伯中銀によるレアルの上限レートと目される3.1000に迫ったことから中銀はドル売りスワップのロール金額を更に減額し、月次ベースで4割程度減らしている。そのほか、来週はギリシャの国民投票の結果が注目される中、リスクオフモードが続くことと予想され、今まで影響の受けにくかったレアルでも売り材料となる可能性が高い。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	マーケット・ブラジルPMIコンポジット	41.0	42.9	-1.51%
ブラジル	マーケット・ブラジルPMIサービス業	39.9	42.5	0.69%
ユーロ	小売売上高(前年比)	2.3%	2.4%	2.7%
ユーロ	小売売上高(前月比)	0.1%	0.2%	0.7%
ユーロ	マーケット・ユーロ圏コンポジットPMI	54.1	54.2	54.1
ユーロ	マーケット・ユーロ圏サービス業PMI	54.4	54.4	54.4

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/6	自動車生産台数	Jun	--	210,086
ブラジル	7/6	自動車販売台数	Jun	--	212,696
ブラジル	7/6	自動車輸出	Jun	--	40,762
ブラジル	7/6	貿易収支(週次)	jul/05	--	\$565M
ブラジル	7/7	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Jun	0.69%	0.40%
ブラジル	7/7	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Jun	6.24%	4.83%
ブラジル	7/8	FIPE CPI-週次	jul/07	--	0.54%
ブラジル	7/8	FGV CPI IPC-S	jul/07	0.82%	0.82%
ブラジル	7/8	IBGEインフIPCA(前月比)	Jun	0.85%	0.74%
ブラジル	7/8	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Jun	8.96%	8.47%
ブラジル	7/8	商品価格指数(前月比)	Jun	--	0.76%
ブラジル	7/8	商品価格指数(前年比)	Jun	--	9.05%
ブラジル	7/9	IGP-M Inflation 1st Preview	Jul	0.62%	0.47%
ブラジル	7/9	全国失業率	May	8.1%	8.0%
米国	7/9	新規失業保険申請件数	jul/04	277K	281K

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。